

第11回議会報告会

報 告 書

平成28年 1 月

西 脇 市 議 会

第11回目を迎えた今回の議会報告会の実施に当たっては、今までの反省を踏まえるとともに先進地視察で得た手法等も参考に、従来よりもきめ細やかに、また、市民の皆さんともっと身近に懇談できる方法を検討しました。

その結果、名称を『議会と語ろう会』とあらため、地区単位の開催を各町・各自治会単位に変更して、2年間に市内全80町で開催させていただくこととしました。

そして今回は、11月7日の開催を皮切りに11月21日まで20町で開催しました。

参加者は、前回8地区の総計が327名でしたが、今回は20町で353名のご出席をいただきました。今回の特徴は、多くの会場でファシリテーション(意見を引き出す技術)を活用し、グループ分けをして膝を交えた意見交換ができたことだと考えます。

お陰をもちまして、町・地区・市に関するさまざまな課題について議論を交わすことができ、日常生活に欠かせない身近な課題についても多くご意見をいただきました。

また、発言いただく方も増加の傾向が見られ、充実した意見交換ができたことを大変喜んでいただいております。

今後も、これに甘んずることなく、全議員が一層ファシリテーション能力を高め、次回の議会報告会でも、さらに活発な意見交換が行えるよう努力を重ねてまいりたいと存じます。

また、各会場で行いましたアンケート調査では、「今回の議会報告会は良かった」との多くのご回答をお寄せいただきました。さらには、『意見交換が議会にどう活かされるのか興味を持った』との意見も多く見られ、議会として「ポスト議会報告会」の取組にも努力していかねばならないことを再認識いたしました。

さて、今回の報告書は各会場でいただきましたご意見やご質問を基調に、総務産業・文教民生の各常任委員会で回答や考え方をまとめたものです。お寄せいただいたご意見等は、急を要する課題や中長期的に取り組むべき課題などさまざまですが、現時点での状況や考え方をまとめさせていただきました。

あわせて、アンケートの分析結果も掲載していますのでご高覧いただきますようお願い申し上げます。この報告書によって西脇市議会に対するご理解が深まり、今後の『議会と語ろう会』への参加意欲が高まる一助になることを期待しています。

ご一読ください。

西脇市議会議長
村 井 公 平

1班：寺北建樹（班長）・村井正信・村岡栄紀

■東本町 参加者7名 開催日11月7日

【質問】

空き家問題に関連して

- ・ 旭マーケット内の家屋の屋根が落ちそうになっていたり、ドアが倒れそうになっている。空き家への対応は、今まで町内会で行っていたがそれも出来なくなりつつある。危険家屋への対応はどうすべきか。
- ・ マーケット内の長屋は40～50軒あるが住んでいるのは10軒程度である。
- ・ 長屋の所有者形態は複雑（以下のとおり）で対応が困難と思われる。
 - ① 土地・家屋共に自己所有物件
 - ② 土地は借地で家は自己所有
- ・ 近年、旭マーケットが観光資源とされ、観光客が写真を撮りに来ることが多い。入り口からマーケット内の風景が良いとのことである。

《回答》

- ・ 空き家対策については、来年度具体的な対応策が示されます。その方針の中で、現在の空き家をどうするのかを一つ一つ検討することになります。
- ・ また、観光資源として研究してみることも一方策であると考えます。

*現在、西脇市空家等対策協議会（学識経験者4名、市民の代表者7名、関係行政機関職員2名、事務局5名）で開催中

【質問】

- ・ 東本町の要望事項のうち、隣接する下戸田や上野にも影響のある案件（道路ミラー設置や溝掃除等）はどのように調整するのか。

《回答》

- ・ 東本町の町内会長さんから西脇区長さんを通じて相手方の区長さんに話をしてもらえば調整できると思われます。

■小坂町 参加者16名 開催日11月21日

【質問】

- ・ 小坂町前田の市の遊休地の経過を知りたい。

《回答》

- ・ 当初、勤労者住宅建設予定地として購入したが、進入路の買収が不可能になったため、今後、どのようにしていくか検討中です。

【質問】

- ・ この土地に太陽光発電を設置してはどうか。

《回答》

- ・ 現在の売電価格を参考にするとともに今後の動向を鑑み検討します。

【質問】

- ・ 西脇市文化祭が市民会館で開催されている。写真展示は二階ホワイエであるが、南側に比べ北側の照明が暗い。北側の照明を増やせないか。

《回答》

- ・ 現状では、建て替え問題を控え難しいと思います。

【質問】

- ・ 春日浄水場の廃止後の説明が地元でない。小坂町との話し合いを早急に開催してもらいたい。

《回答》

- ・ 当時の役員に説明をしていますが、廃止後の利用についてはさら地に戻し売却する方向で考えています。また山の上の配水池については今後も継続して使用します。

【質問】

- ・ Miraie (みらいえ) にバスが乗り入れているが乗降者を見ない。どう思うか。

《回答》

- ・ 現状、空気を運んでいる状況かもしれませんが、図書館を移転させ新しい拠点づくりとして一人でも多くの人たちに利用していただくために運行しています。しばらく状況を確認して検討することになりますので、お時間をいただきたいと思います。

【質問】

- ・ 平成10年頃に約束した春日浄水場に関係するいくつかの工事が実行されていない。何とか実現してほしい。

《回答》

- ・ 今日の時点では、詳しいことがわかりませんので、現区長さんと当時の役員さんを交えて、岩崎議員（小坂町に居住する議員）と寺北議員（今回の班長）が調整をして担当課との話し合いの場を設定します。

【質問】

- ・ 図書館が新しくなったが、古い本が多い。新しい本を入れてほしい。

《回答》

- ・ 11月30日現在 159,388冊を所蔵しています。17,485冊を増やしましたが、新しい書物を借りる方が多いため、新しい本の数は不足しています。
- ・ また11月の貸出数は36,000冊、貸出者数は、8,800人となっています。オープン後、図書館への入館者数は25,000人となり、昨年約5倍となり、多くの方々に利用いただいています。
- ・ 不足分は閉架書庫で補っていますが、どうしても古い本が目立っているため、今年度中に新しい図書購入も考えています。

(その他の意見)

- 認知症についての市の対応は。
- 市役所の位置に関連して市民会館はどうなるのか。
- 災害時の避難所が重春小学校になっているが遠すぎる。小坂町に近いところに確保できないか。
- 少子化が進んでいる。今後のことを考えると、日野小学校と西脇小学校を合併することも一方策ではないか。

■野村町1区 参加者22名 開催日11月11日

【質問】

- ・ JR線路（内橋ふとん店前の踏切～杉原川）南側の空地について、5月の議会報告会で要望していたフェンスの設置はどうなっているのか。

《回答》

- ・ JRから利用者側でフェンスの設置、地下ケーブルの移設を行えば通行できる可能性があるとの説明を受け、工事費の見積もりを依頼しましたが、28年1月22日、最終的に通行不可の回答がありました。

【質問】

- ・ 市駅から中心部への移動について、アピカや市役所へ歩いて行く時、旧国道に出て北上している。歩道もなく大変危険である。やすらぎの道を通行するよう駅前に案内表示をしてはどうか。

《回答》

- ・ 観光案内も含めた通行誘導の表示の設置を検討します。庁内で調整しながら考えていきます。

【質問】

- ・ 市外から市役所に行く道順がわかりにくい。分かりやすい表示が必要ではないか。

《回答》

- ・ 市外から市役所へ行くルートが3か所あります。道路整備も含めて庁内で調整しながら検討します。

【質問】

- ・ 水道料金が高い。

《回答》

- ・ 水道料金が近隣市と比べて高い理由
 - ① 施設の改築更新が進んでいるため、それに係る費用（減価償却費）が多い。施設の耐震化の進捗、県内市で3番目（平成26年度時点）
 - ② 水道水を多く使う大口の企業が少ない。その分、一般家庭の負担が大きくなる。
 - ③ 施設数の割合が高い。山間部分が多く、配水池、ポンプ場や管路等の施設が多く必要であり、その分維持管理費もかかる。加東市、小野市、三木市等は、比較的平地にある。

【質問】

- ・ 旬菜館の売り上げは赤字なのか黒字なのか。

《回答》

- ・ 平成27年12月末現在、売上高は 120,081,659円
- ・ 施設使用料 19,321,166円
- ・ 指定管理料 21,000,000円
- ・ 集出荷業務委託料 1,500,000円
- ・ 推奨野菜苗購入助成金 299,934円
- ・ メール配信拡張システム等構築業務委託料 1,512,000円（4回/日 配信）
- ・ 最終的に施設使用料は（平成27年度）21,000,000円前後になると予想されます。

（その他の意見）

- 市役所の駐車場が狭い。職員は別の場所を確保して、来庁者の駐車場を広くしてほしい。

- 新庁舎の建設場所は、今後アピカ前の歩道が道路化されること、西脇市駅から近いことなど将来性を考慮し、ダイイチ跡地が良いのではないかと。
(ダイイチ跡地は建設予定候補地から外れました)
- 大雨が降ると、内橋ふとん店南の踏切に水がたまる。対応してほしい。

■落方町 参加者23名 開催日11月8日

【質問】

- ・ 交通問題について、昔は神姫バスの停留場が町内にあったが、今は水尾町経由で、大変不便。コミュニティバスの運行はできないか。

《回答》

- ・ 芳田地区は民間バスの運行地域となっていますので、コミュニティバスの運行は難しい状況です。今後地区の課題として対応策を検討していくべきと考えます。
- ・ 現在、総務産業常任委員会ではコミュニティバス運行を含めた「市内公共交通対策」について調査を行っています。12月までに調査報告をまとめ、市行政にも提言する予定です。

【質問】

- ・ スーパーやコンビニ等、生活用品を購入する場所がない。

《回答》

- ・ 比延地区では、まちづくりの事業として、ボランティアで食料品や食材を中心に生活用品を販売する取組をされています。(移動販売車「笑顔いっぱい比田野号」)
- ・ 芳田地区も直売所があるので、ここと連携して取組の検討をされてはいかがでしょうか。

【質問】

- ・ スイーツファクトリー事業について、研修後の地元就農や用地の使用等を含めた地元への定着はどうなっているのか。

《回答》

- ・ 落方町を中心に就農希望者に土地をあっせんするとともに空き家情報を伝えます。現在、2名の研修生は落方町・明楽寺町の空き家にそれぞれ入居しておられます。

【質問】

- ・ 野間川芳田地区公園でのグラウンドゴルフ等の利用者が増えているのでトイレの設置をお願いします。

《回答》

- ・ 設置した場合、清掃等の管理を誰が行うか等検討する必要があります。地区の課題として検討し、区長さんを通じて市に要望していくべきではないでしょうか。

【質問】

- ・ 野間川の堤防の草刈りですが、高齢化で限界にきている。来年以降は、小山地区の堤防が延長されるため、大型機械を導入して、草刈りをしてはどうか。そうすれば少人数でできるのではないか。

《回答》

- ・ 落方町以上に、合山町や八坂町の方も深刻な問題となっています。どこの地域にも共通した課題となっていますので、数年後、実施が不可能になるのではないのでしょうか。今後は、市全体で考えていく課題です。

【質問】

- ・ 芳田地区の指定避難所は西脇南中学校となっているが、距離が離れており芳田地区内に設置すべきではないか。

《回答》

- ・ 芳田地区内にある方が望ましいことは理解できますが、芳田小学校や芳田ふれあい館は土砂災害警戒区域内にあたるため指定はできません。
- ・ 適当な施設があれば、設置を考えていきたいと市から回答がありました。

【質問】

- ・ Miraie（みらいえ）で住民票がとれるようにしてほしい。

《回答》

- ・ 住民票を発行する場合、本人確認が必要となります。そのための職員の負担が増える等の課題がありますので、現時点では考えていません。

【質問】

- ・ 議会中継の録画配信を楽しみによく見ているが、もっと早くアップできないのか。

《回答》

- ・ 業者委託のため、通常は10日から14日はかかりますのでご理解ください。

(その他の意見)

- 生徒数の減少により多可高校が廃校になってしまうのではないかと。西脇高校も来年度1クラス減と聞いている。大丈夫なのか。
- 土砂災害警戒区域内の建物を地上げ等する際に補助できないか。

2班：高橋博久（班長）・坂部武美・古西祐子

■和布町 参加者10名 開催日11月20日

【質問】

- ・ 26年度決算の病院会計が21億円も赤字になっているが。

《回答》

- ・ 会計制度の改正で退職引当金や減価償却を計上することとなりました。退職引当金は約20億円、減価償却は約2億円で、今回これらの額を処理したため赤字となっていますが、実際は約2,300万円の黒字となっています。

【質問】

- ・ 市役所の候補地が3か所となっているが、市役所は集客施設であることを考えて立地すべき。

《回答》

- ・ 建て替えの場所はまだ決定していません。市役所は多くの人を訪れる集客施設であることも考慮しながら、現在、公共施設適正化検討委員会で検討中です。（議会でも市庁舎等建設に関する特別委員会があります。）

【質問】

- ・ 市民会館の保存活用を聞く。市役所と同様に市民会館も建て替えた方がよい。

《回答》

- ・ 建設当時の建物としては斬新なものであったと思いますが、これも公共施設適正化検討委員会で検討されています。
- ・ 議会へも保存活用を求める陳情書が提出されていますので、陳情者の意見も聞き内容を調査します。（議会でも市庁舎等建設に関する特別委員会があります。）

【質問】

- ・ 九留主谷の周りが山に囲まれており、地震などの際には災害の危険があるのではないかと。

《回答》

- ・ 急傾斜地、土石流警戒地区ですので山からの落石など、何らかの異変が感じられたらすぐに市役所へ連絡をお願いします。

【質問】

- ・ 国道 175号のトンネルを通り市街地に向かうと、西脇地区内は平面交差が少なく高架が多い。これでは沿線に商店などが張り付かないのではないか。

《回答》

- ・ 確かに津万平野には高架の橋げたが並び平面交差がありません。従いまして沿道型商業は難しいと思います。国は通過交通を優先しているようです。

【質問】

- ・ 市債が多いが西脇市は大丈夫なのか。

《回答》

- ・ 538億円の市債残高のうち、一般会計は 190億円、 230億円が下水道、94億円が病院です。市民一人当たりで換算して 128万円の借金となりますが、計画的に年次ごとに返還していますので借金だらけにはなりません。西脇市の財政状況は、県下29市の中でも中間あたりです。

【質問】

- ・ 若い人に住んでほしいのなら、何らかの特典も必要ではないか。

《回答》

- ・ 定住促進策として、住宅の新築支援やアパート支援、保育料の無料化等を行っている自治体もあります。西脇市では、現在まち・ひと・しごと創生総合戦略の中で、施策検討しています。12月に素案が発表され基本目標が示されました。そのような中で、例えば基本目標 2 で、結婚、出産、子育てしやすいまちを実現します、とあり妊娠・出産費用の負担軽減、子育ての経済的負担軽減などの具体的施策が示されています。

(その他の意見)

- せめて若者が出ていかないようにすべき。
- 市職員は危機感を感じていないのではないか。

■黒田庄町喜多 参加者20名 開催日11月13日

【質問】

- ・ 黒田庄商店会が設置した街灯が古くなり、倒壊の恐れがある。どのように対応すればよいか。電気代は街灯に名前が入っている個人が支払っている。

《回答》

- ・ 市の土木課によると市の街路灯や防犯灯として登録されていないとのこと。従って市が撤去することはできないのが現状です。
- ・ 街灯は、津万井、大門、喜多にまたがり、50本近く設置されています。関係者で協議いただく必要があります。その結果の相談には対応するとのこと。

【質問】

- ・ 3か所が候補地となっているが、カナート跡地、ダイイチ跡地はともに水害被災地であり、現在地での建て替えありきからの発想ではないか。

《回答》

- ・ どこに建て替えるかは決定していません。現在、公共施設適正化検討委員会で検討中です。
- ・ 現在地以外は地上げ等の対応が必要となります。
- ・ カナート跡地であれば黒田庄地区からは近くなります。
- ・ 庁舎、市民会館等を設置する場合約2haの広さが必要となります。カナートは2.2ha、ダイイチは2.3haありますので広さは確保できますが、新たに土地取得費に数億円が必要となります。(ダイイチはすでに候補から外れています。)

【質問】

- ・ なぜつくしバスをコミュニティバスにしないのか。黒田庄地区だけが自主運営しており差別されているように思う。

《回答》

- ・ 黒田庄まちづくり協議会で現在の運行を決められたと聞いております。
- ・ 黒田庄地区も協議会が中心となって地区からのまちづくりを進められており、より利便性を考えて検討され、地区で意見集約したうえで公共交通対策会議の中で議論されてはどうか。(コミュニティバス化は4月から決定しています。)

【質問】

- ・ 国道175号バイパス計画はどうなっているのか。

《回答》

- ・ 国道 175号期成同盟会で早期実現を要望されていますが、畑瀬橋以北のルート決定は聞いていません。

【質問】

- ・ 前坂津万井線の黒田庄喜多と黒田庄大門との境界部分から、堤防につながった所で、急に道路が細くなり危険である。

《回答》

- ・ 黒田庄町時代にどのような計画で道路ができたのかは分かりませんが、堤防を通る道路なので拡幅をするにしても課題は大きいと思われます。
- ・ 関係町で検討して区長会を通じ市へ要望してはどうか。

【質問】

- ・ 役場跡地を活用して、町民の憩いの場にしたい。どうすればよいか。

《回答》

- ・ 黒田庄地区全体としての活用か、喜多としての活用かによって対応が違ってくるのですが、まずは、軽トラ市のようにまちづくり協議会等で検討していただき、地区の皆さんが主体となって運営していただくことが地区からのまちづくりの考え方です。
- ・ 補助金等の支援内容は市と協議してください。

【質問】

- ・ 丹波市では空き家の解体に50万円補助している。西脇市はどうか。

《回答》

- ・ 今、空家等対策協議会を設置し、来年の夏頃までに計画をまとめる予定です。
- ・ その中で空家バンクの設置や活用補助等も示されると思います。

【質問】

- ・ 未婚の人が増えている。市が仲人をしないとなかなか結婚まで繋がらない。市に専門担当を置いてはどうか。

《回答》

- ・ 婚活イベントだけでは結婚に結び付きにくいと考えます。
- ・ 富山県南砺市では、仲人のグループ（おせっ会）に95名が登録し、今までに52組が成婚されています。議会でも総務産業常任委員会で市に仲人の会の設立の議論を行いました。

【質問】

- ・ 美術館の裏から線路沿いに公園へ上がる園路に街灯がないため、特に祭りのときなど暗くて歩きにくい。

《回答》

- ・ 都市住宅課へ伝えます。(検討するとの回答をもらっています。)

■下戸田 参加者15名 開催日11月16日

【質問】

- ・ カナート跡地には、市役所よりもスーパーマーケットに来てほしい。下戸田に食料品を買える場所がなくなり不便である。

《回答》

- ・ 市としても所有者に働きかけていますが、よい返事はないと聞いています。
- ・ イオン系の大型店舗は加東市、小野市、加西市にもあり、その兼ね合いもあるようです。

【質問】

- ・ 下戸田も高齢者が多い。比延地区のような食料品の販売車を運行することはできないか。

《回答》

- ・ 津万地区のまちづくりの中で検討されたらどうでしょうか。
- ・ まずは下戸田から声をあげられたらどうでしょう。近い将来、市は地区の皆さんに地区の課題を自ら解決するための地域自治協議会を設立いただき、課題解決に必要なものに補助金を出す計画があります。今から準備されても良いかと思います。

【質問】

- ・ カナート跡やダイイチ跡、道路、住環境も含めた西脇市全体の都市計画を見直す必要があるのではないか。

《回答》

- ・ 都市整備や土地利用、市街地開発等、西脇市の都市計画を示す「都市計画マスタープラン」の目標年次は平成30年までとなっています。
- ・ カナート跡やダイイチ跡、道路網整備等、西脇市をどのようなまちにしていくなのか、マスタープランの見直しも含めて検討しています。

【質問】

- ・ 資料館や隣保館が図書館のサテライトとなっているが、どのような本があるかを検索できる端末機があれば利用しやすい。

《回答》

- ・ 現状は、郷土資料館、大野隣保館、日野コミセン、比延コミセン、芳田ふれあい館、黒田庄コミセンをサテライトとし、予約があった本の受け渡しや返却に対応しています。
- ・ 検索システムは設置していません。図書館としては、インターネットで検索できること、サテライトの利用も少ないことから、現時点では検索のための端末をサテライトに置くことは考えていません。

(その他の意見)

- カナート跡地に市役所の建設を。
- 若者が流出している。また働く場所がない。

■比延町 参加者12名 開催日11月21日

【質問】

- ・ 子育て支援に力をいれるべきだ。小野市の取組に負けている。

《回答》

- ・ Miraie（みらいえ）の完成により、児童館や子育て学習センターの内容を充実しようとしています。
- ・ 医療面でも中学3年生までの医療費無料化や多子世帯の保育料軽減等を行っています。
- ・ 不十分かもしれませんが、まち・ひと・しごと創生会議でもお母さん方の意見を聞いて施策に盛り込むことを検討しています。このことが定住促進策につながっていくものと考えます。

【質問】

- ・ 上比延側からも鹿野側からも上比延工場公園方面への交通量が多くなった。事故等が増えることが予想され、交通安全面が心配である。

《回答》

- ・ たしかに中畑工場公園や西日本コクボ、光洋機械産業等への車が多くなっているように思います。
- ・ 市も、状況を確認していますが、交差点などの交通安全上問題のある場所があれば区長さんを通じて市へ要望してください。

(その他の意見)

- 比延小学校前の通学路にグリーンベルトがない。
- 玉木新雌さんのような方を20人作りたいと聞いている。播州織だけではなく、若者が起業しようとするときに、地元として町の一員として見守っていただきたい。

3班：村井公平（班長）・林晴信・宮崎春貴

■明楽寺町 参加者29名 開催日11月7日

【質問】

- ・新しく保育園ができるが子どもが減少するので、余った施設を災害時の避難所や住民の交流施設として活用するなど、その方法を考えてはどうか。

《回答》

- ・案としてはあるようですが、認定こども園の進捗により検討します。

【質問】

- ・人口が少なくなればバスもなくなるのではないか。

《回答》

- ・コミュニティバスも検討しましたが、既存の八千代大屋線があるため断念しました。
- ・現在、総務産業常任委員会ではコミュニティバス運行を含めた「市内公共交通対策」について調査を行っています。12月までに調査報告をまとめて、市行政にも提言する予定です。

(その他の意見)

- ボーリング場等、遊ぶところや娱乐场所がないので市外へ転出するのではないか。
- 子供見守り隊に8人の方が申し出をされた。若い人が地域で生活できる環境を作っていきたい。地域の人が地域の人を助けるようにしていきたい。
- 西脇市も地域創生プロジェクトを進めてもらいたい。それに議会もバックアップしてほしい。

*総合戦略の策定、人口の減少に歯止めをかけるため、平成26年11月に「まち・ひと・しごと創生法」が制定されました。同法は、東京圏への人口の過度の集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある日本社会を維持するため、総合的かつ計画的に実施することを目的として掲げています。

■ 野村町2区 参加者8名 開催日11月10日

【質問】

- ・ 高松町から加東市への道路が狭いので拡幅してほしい。

《回答》

- ・ このことについて特に現在地元から要望が出ていないようです。
- ・ 高松橋は現在の道路幅で改修することが決まっていますが、拡幅の予定はありません。

【質問】

- ・ 野村大橋の東詰めの野村東交差点の交通量が多く北から右折する際、時間がかかる。対処してほしい。

《回答》

- ・ 交差点改良が必要となるが、加古川と東側の山に挟まれ、スペースが限られているため右折レーンを設けることが難しいようです。
- ・ 時差信号の設置も含め、警察との調整となりますが、今後の検討課題です。

【質問】

- ・ 西脇市駅舎に関連して、市が駅名を「野村駅」から「西脇市駅」に名称変更したが市の玄関口となる西脇市駅をどのように考えているのか。

《回答》

- ・ 地元の方々に協議会を設置されましたが、意見がまとまらず保留状態となっているとお聞きしています。
- ・ 現在、駅舎のみの建て替えに絞って、野村町の区長さんと役員さんと市の間で協議をしています。

【質問】

- ・ 高松霊園の車椅子スロープは、行く場所により距離が遠く大変なので階段部分にスロープを設置できないか。

《回答》

- ・ 現地調査をしましたが、現在、南側にスロープが付いています。
- ・ 階段部分は勾配がきついため、現状では設置が困難であると思われます。

【質問】

- ・ Miraie（みらいえ）の施設内から広場に出るところに設置されている溝側の蓋部分がU字型で砂がたまり、そこで幼児が転んでいるので対処してほしい。

《回答》

- ・ 現地調査をします。

- ・ 現地調査を行い、施設長に対応を依頼しました。
- ・ 当面は清掃作業をこまめに行い、対応策を検討いたします。

(その他の意見)

- 婚活に関して、目的が婚活のみではダメだと思う。青年団活動、登山、ハイキング等、外の活動による出会いの場を作っていけばよいのではないか。
- 西脇病院の対応について、土・日曜日、夜間に診察依頼をし、到着する時間を聞かれ10分と返事をしているのにもかかわらず、30分も待たされるのは何故か。
- 市役所の窓口対応で、転出手続きの際に3か所で30分待たされ、対応が悪い印象を持った。職員が少ないのではないか。

■上丘町 参加者7名 開催日11月14日

【質問】

- ・ 市民会館は使いにくく時代に沿っていない。新しい施設にするのか。

《回答》

- ・ 現在、公共施設適正化検討委員会で検討中、今年度中に方針が決まる予定です。

【質問】

- ・ しばざくら荘は、入所数が少ないのに入所希望者がたくさんおられるのは何故か。

《回答》

- ・ 介護職員が確保できないため、入所が少なくなっています。

【質問】

- ・ 夏になると天神池プール東の池に子どもたちが近づき、池に落ちた事例がある。安全を確保するための柵の設置はできないか。

《回答》

- ・ 現地確認を行い、担当課と協議しました。
- ・ 以前ロープを張っていましたが、草刈り作業がしにくくなったため撤去していますが、今後、担当課で対応策を検討します。

【質問】

- ・ 大野隣保館と上野会館は、近いところに同様の施設があり同じような事業が行われているので統合できないものか。

《回答》

- ・それぞれの隣保館が設立された歴史的な経緯があり、それぞれ個別の事業を実施されております。なお、隣保館の統合については、特に最近の議題にはありませんが、各隣保館を利用されている方々の利便性や歴史的な経緯を十分に配慮したうえで検討する必要があります。

(その他の意見)

- Miraie (みらいえ) の運営について、ベルディーホールやエクラのように、運営委員さんに頑張ってもらいたい。
- 西脇市に映画館等の遊べる施設がない。買い物をするところがないのでできるようになればよいと思っている。
- コミュニティバスしばざくら号は、貸切状態の時がある。便数を増やしたりPRすればよいのに…私は助かっています。

■郷瀬町 参加者43名 開催日11月20日

【質問】

- ・マイナンバーの通知は確実に届くのか。

《回答》

- ・郵便局に残ったものは、1週間が経過した時点で市が引き取り、対処いたします。

【質問】

- ・ふるさと納税で入ってくる額と出ていく額をチェックして対応してほしい。

《回答》

- ・26年度時点で納税収入 1,360万円、支出 323万円
- ・今年度の寄附額は、平成28年1月25日現在で92,478,008円です。
- ・支出については税が確定次第確認します。

【質問】

- ・市役所・市民会館の建て替え場所はどこになるのか。
- ・市役所がなくなれば郷瀬町の灯が消えてしまう。警察署、ハローワーク等も同じ場所にある。西脇市は有権者 1,000人の意見より、実力者二~三人の意見が通る。若い人の興味がなくなる。

《回答》

- ・建設場所は公共施設適正化検討委員会で今年度中に決定する予定です。

- ・ 検討委員会には公募の市民委員も入っており、実力者二～三人の意見ではありません。

【質問】

- ・ 認定こども園を設置するが、教育の部分の質は落とさないようにしてほしい。

《回答》

- ・ 現在、教育委員会が関わりカリキュラムを作っています。
- ・ また保育士の研修も行っています。
- ・ 議会としても今後も関わり注視していきます。

4班：中川正則（班長）・岡崎義樹・高瀬洋

■ 高松町 参加者16名 開催日11月7日

【質問】

- ・ マイナンバー制度が導入されるが、証明は免許証があればよいのではないか。

《回答》

- ・ 運転免許証を持たない、子供からお年寄りまでの全員に、一人ひとりを特定できる番号が通知されています。

【質問】

- ・ 人口増の策は、他の自治体と同じことをやっけては伸びない。

《回答》

- ・ まち・ひと・しごと創生事業の一環として、国の補助を活用して市独自の政策を打ち出していくこととしています。他市にない事業として、ファッション都市構想が事業として採用されています。概要は、ファッションデザイナーを育成し市内への定住を促進していく、また情報シティプロモーション構想を軸に他市の若者へ西脇市の良さをアピールしていく新しい展開を検討中です。

【質問】

- ・ 高松町には人が住みやすく、事業所も建てられるなどの対策が必要
- ・ 市街化調整区域ではあるが、特区等により対応できないのか。
- ・ また、農業振興地域や農用地からの転用も含めて検討願いたい。

《回答》

- ・ 平成25年末に特別指定区域についてアンケート調査を実施しました。

- ・ 既存、新規の拡張の可否について県との調整をしましたが、借地のためすぐわないと却下された経緯があります。
- ・ 新規の申請は1月に認められる方向で調整しています。
- ・ 「なんでもいいから事業所に来てほしい」という要望は、県として受け入れられないとの回答をもらっています。
- ・ 農業振興地域や農用地の除外は簡単にはできません。目的が明確でない場合、集団的に除外をすることはできませんので、国の法律に基づいて守っていかなければなりません。
- ・ また個別に対応する場合、明確な目的があり、その内容の判断になります。

【質問】

- ・ 農地を他の目的に使えるようにすることは難しいと思うが、住民への説明会を開催してもらえるのか。

《回答》

- ・ 高松町から農業振興地域を除外してほしいという話は聞いていません。現時点では個別対応となります。

【質問】

- ・ 国道 175号板波橋東詰信号機の南側に設置されている非常駐車帯にゴミのポイ捨てが多く見られ危険である。閉鎖してほしい。

《回答》

- ・ 地元からも同様のご意見を伺っています。しかし、必要性があり車溜りが設置されていることが想定されますので、安全地帯をなくすことは難しいです。

(その他の意見)

- 西脇市に魅力がない。商店がない。
- 道の駅のスケールが小さい。中途半端である。
- 高松町は西脇市の玄関口であるにもかかわらず、農用地が多く宅地がない。
- 市内での移住では意味がない。県下や都市からの移住に力をいれる。
- 少子高齢化が進み、町行事への人的負担が大きい。
- 西脇市にもっと仕事をする場所を増やしてほしい。
- 商業地を増やして人口増を図るべき。
- 地元で就職できるよう多種の企業を誘致してほしい。

■ 上野 参加者25名 開催日11月 9日

【質問】

- ・ 今後、旧斎場の跡地の利活用の予定はあるのか。

《回答》

- ・ 現時点では予定はありません。
- ・ 平成16年に跡地利用についての話し合いを行い、平成17年にとり壊しました。現在、上野の墓参りの際の駐車場に使用しています。(管理は上野が行っています。)

【質問】

- ・ 国道 427号線（中兵庫信用金庫～西脇小学校の間）の歩道整備を早急に進めてほしい。

《回答》

- ・ 現在、旭商会（ガソリンスタンド）から西脇小学校までの間は歩道が設置されています。
- ・ 県管理となる旭商会から中兵庫信用金庫までの間への設置は、用地買収が必要となるため難しく、カラーペイントで表示する対応になると思われます。

【質問】

- ・ 土・日曜日にMiraie（みらいえ）までのコミュニティバスを運行してほしい。

《回答》

- ・ 子どもたちや高齢者、運転免許を持たない人などのために、今後、バス運行を検討いたします。

(その他の意見)

- カナート跡地は、周辺が暗くて防犯上危険である。若者の働く場所がなく、このままだと人口減少となるので早急に考えてほしい。
- おりひめバスの便数を増やしてほしい。
- 西脇市、加東市、加西市などの財政状況はどうか。
- 観光スポットの日本へそ公園にはたくさんの方が訪れている。地球科学館のリニューアルやトイレの整備などが行われているが、リピーターも含めて、集客目的のイベントをふやしてほしい。
- Miraie（みらいえ）内の学習室が狭い。収客人数も少ないので学習部屋として利用できるようにしてほしい。

■黒田庄町大門 参加者16名 開催日11月21日

【質問】

- ・ コミュニティバスの運行ルートの見直しやデマンドバスの導入などの検討をしてほしい。

《回答》

- ・ コミュニティバスは、Miraie（みらいえ）のオープンにより、市民のニーズも変わってくるので、これとあわせて検討中です。

【質問】

- ・ 黒田庄保育園は市内の他の保育園と比べると、財政的に脆弱である。特別な配慮も必要ではないか。また、幼児数に比べて黒田庄地区の認定こども園の定員が少ないのではないかと心配である。

《回答》

- ・ 公立での運営が長かったので、状況は理解できますが、現状は他の保育園と同様の扱いになっています。

(その他の意見)

- お年寄りが家にこもるのではなく、もっといきいき暮らせる街にしたい。考えてほしい。
- 黒田庄町門柳の天然水の森の恩恵で、岡地区の水田の半分が湧き水で賄われている。この良質な環境で育ったお米をもっとPRできないか。
- 庁舎や市民会館の建て替えの必要性は分かるが、キャパや利便性についてはもっと議論が必要
- 遊休の田畑の活用について、集約化や法人化を進めてほしい。

■上比延町 参加者24名 開催日11月11日

【質問】

- ・ 市街化調整区域の見直し等により土地の活用にも柔軟性をもたせてほしい。

《回答》

- ・ 平成28年1月7日、2月9日に、県との調整により特区申請が下ることを確認しています。
- ・ 具体的には芦谷繊維さんの跡地であり、上比延町へも早急に伝えられることになっています。

【質問】

- ・ 旧図書館の今後の利用は？特に中学生・高校生の学習室のスペースが必要である。

《回答》

- ・ 旧図書館の一部をサロンのようなスペースとしてリニューアルする予定です。中学生・高校生が学習で利用できます。

【質問】

- ・ ナイター設備について、黒田庄のふれあいスタジアムは立派なナイター設備があるのに使っていないのは何故か。

《回答》

- ・ ナイター設備の電気代は、電力会社との契約上利用がほとんどなくても定額料金がかかるため、現在は休止しています。

*当時の費用年間 380万円（電気代、基本料金含む）利用者年間11回

【質問】

- ・ 若い人の起業やベンチャービジネスへの支援をすべき。

《回答》

- ・ 商工観光課で予算化して取り組んでいます。（セミナー事業と商い事業での補助事業はいくつかあります。その中のメニューで応募していただき審査に通れば補助金支援はあります。）

(その他の意見)

- 日本のへそ公園内の樹木の剪定等の手入れが不十分である。
- 西脇篠山線の拡幅工事はどうなっているのか。
- 日本のへそ記念碑付近の加古川左岸の道路の路側整備が必要
- 西脇カントリーに接続する水道管が旧道に配管してある。
- 医療機関が混んでいて、長時間待ちや当日は無理な場合がある。
(市内の医療機関全体に対する考え方)
- 上比延工場公園進出企業で働く人の多くが市外在住で、企業がバスで送迎している。これらの人の住宅対策により人口増が見込める。

5班：岩崎貞典（班長）・浅田康子・東野敏弘

■上戸田 参加者10名 開催日11月10日

【質問】

- ・ 加古川右岸の整備（治水対策）に関して、平成16年23号台風の時に堤防から水が溢れており、県に対して堤防の嵩上げか堆積土砂の除去をお願いして欲しい。

《回答》

- ・ 激特事業は終了しました。現在、県の社会基盤整備プログラムに上戸田から上流の河川整備があがっていますが、具体的な内容は示されていません。
- ・ 優先順位が決まっていない状態ではありますが、できる限り早く着手してもらえよう要望していきます。
- ・ 黒田庄町福地が優先される予定です。

【質問】

- ・ 上戸田交差点より八幡神社方面への約80mに歩道を設置して欲しい。通学路であるが、特に朝のラッシュ時の自動車の通行量が多く危険である。

《回答》

- ・ 国道 175号北バイパスの整備に係る道路であり、手戻りがあるため、歩道整備は地元と国との調整によるバイパス整備と平行して行っていくことを検討していきます。

【質問】

- ・ 上野上戸田線（上戸田交差点～八幡神社～国道 427号）における速度抑制対策を取ってほしい。

《回答》

- ・ 速度標識は、公安委員会へ依頼して設置済みです。
- ・ 道路標示は、今年度中に市が行う予定です。
- ・ この地区はゾーン30の地区です。

*ゾーン30とは自動車事故抑止のため、住宅街など、生活道路が密集する区域を指定し、その区域の最高速度を時速30キロに制限する交通規制

（その他の意見）

- 土地利用の緩和、特区申請がもっとスムーズにいけるようにしてほしい。
- 働く場所の確保を考えてほしい。
- 人口減少問題をもっと前向きに考えるべき。
- 市役所の移転先は市民に分かりやすく明確に説明してほしい。

- マイナンバーによる不利益、アルバイトができなくなる。
- 日常生活が大変不便である。(買い物をする場所がない。)

■富田町 参加者12名 開催日11月14日

【質問】

- ・大雨時の対策として春日橋の橋脚付近を重機等で掘削できないか。

《回答》

- ・土砂掘削には多額の予算がかかりますので粘り強く要望します。しかし、直ちに着工してもらうことは難しいと考えます。

【質問】

- ・神姫バスとのぎくバスは、西脇病院行が富田町を通らないので困っている。検討してほしい。

《回答》

- ・既存のバス路線としては富田町の町中を通すことは難しいと思われま
 - ・多可町との北はりま定住自立圏協定の中での検討も難しいと思われま
 - ・コミュニティバスのルートを決める際、警察・県・神姫バスと協議しなければなりません
- が、物理的にのぎくバスを富田町内を走らせることはできないと考えます。

■津万井 参加者24名 開催日11月19日

【質問】

- ・認定こども園に関係する市の部署がこども福祉課と教育委員会とに分かれています。組織の一元化はできないのか。

《回答》

- ・今後もこども福祉課と教育委員会で対応していくことになります。
- ・他の市町の考え方も研究して対策を検討していきます。

【質問】

- ・今後人口減少が想定される中、認定こども園の施設の活用をどのように考えていくのか、また、将来子どもが減ってきたときの対応をどのように考えているのか。

《回答》

- ・ 黒田庄地区の場合、0才から4才まで現在 225名です。将来予測（20年後）は 196名と厳しい数字ではありませんが、万が一、園児が減少する場合は学童保育を含めたサービスの提供、また地域の子育て拠点の核となるような施設を目指していきます。

【質問】

- ・ 保育を必要としない子どもの受け入れ、または子ども数が減少して経営が厳しくなった時はどうするのか。

《回答》

- ・ 経営の合理化に向けて法人間の統合も考えていきます。

(その他の意見)

- 就学前教育の担当課が、こども福祉課と教育委員会とに分かれているのはいかがなものか。組織を一元化することによってスムーズに行くのではないか。
- 市が関与して認定こども園を作ったときには、各園の先生方のレベルを均等してほしい。
- 本当に地域の子どもの事を真剣に考えているのかどうか、聞いた話によると加東市等は市が建てているらしい。
- 看護師等修学資金貸与制度は、西脇独自の制度でも良いから、ぜひ続けてほしい。(12月定例会において、平成28年度からも継続することが決まりました)
- 空き家の特定は誰がするのか、持ち主がわからないからそうするのか。(西脇市空家等対策協議会で検討する予定です。)
- 子どもがふるさとへ帰ってこられるような対策を考えてほしい。人口減少は他の自治体と同じことをしていても解決できない。
- 新庁舎は市民会館跡に複合施設としてその場所に建てることにより、駐車場も広くできるし、周りの官公庁も喜ぶのではないか。
- 子どもたちの遊び場がない。黒田庄にも作ってほしい。(身近な公園)
- 土地開発公社が解散したと聞くが、公社が持っていた土地を市が買い上げて清算したのか、Miraie (みらいえ) もそうではないのか。市民を騙すようなことはしてほしくない。
- 西脇市の魅力をもっとアピールすべきである。他市へ行っても西脇とわかってもらえない。西脇をPRすべきである、そうすることによってふるさと寄附も増える。また西脇に来られる方も増えると思う。

■南旭町 参加者14名 開催日11月18日

【質問】

- ・ 南北道は必要な道路である。早期開通（5年を目標）をお願いしたい。

《回答》

- ・ 南北道は県道であるため早期開通は難しいと思いますが、行政側も十分承知をしており、ねばり強くお願いするしかないと思います。

【質問】

- ・ マイナンバー制度では個人情報の漏えいが心配である。

《回答》

- ・ マイナンバー制度では税、年金の情報や病歴などプライバシーに関するものは記録されません。また、通常の個人情報よりも厳重に管理されており、そういうところから情報が漏れる心配はないと聞いております。

(その他の意見)

- 災害時の移動手段及び通学路の安全確保が必要
- 童子山公園の再活性化
- 若者世帯への税制の特典も設けてほしい。
- カナート跡地に市役所をもってくるのはどうか。
- グラウンドゴルフの公認コースの設置をしてほしい。
- 空き家の件で市に報告しても、なかなか動いてくれない。早くするシステムづくりをしてほしい。
- 老人のための施設が少ない。
- 天神池プールの使用料の就学前の無料化
- 良いこととして災害時の協力体制が確保できている。
- 西脇区に遊具や公園がほしい。
- 公共施設が一か所にある方がよい。

議会への感想、意見等（アンケート調査に記載いただいた内容を転記しました。）

《一班》

- ・ 自治会単位ではなく、芳田全体で考える方向がよい。（落方町）
- ・ プレゼン上手でした。資料もわかりやすかった。（落方町）
- ・ 新しい企画でよかった。（小坂町）
- ・ 今後このような機会を各町で催してほしい。（小坂町）
- ・ 時間が足りなかった。（野村町1区）
- ・ 年間に何回もやってほしい。（野村町1区）
- ・ 親切な対応でよかった。（東本町）
- ・ 防災西脇市として東本町と上野の間の溝を修理してほしい。穴ボコや亀裂がある。（東本町）

《二班》

- ・ 要望ばかりですが現地を見ていただいて検討をお願いします。（比延町）
- ・ 現状を「そういうもの」として受け入れ、もう少し問題意識を持って見る必要があると気づかされた。（比延町）
- ・ お疲れ様でした。（比延町）
- ・ 時間が短かすぎる。（比延町）
- ・ 参加者が少ないので多く参加する努力が必要（比延町）
- ・ 住民も議員も議会も話し合っていて欲しい。この運動を続けていけば何かが生まれるかも？（下戸田）
- ・ 市民の役割は（下戸田）
- ・ 今回の意見に対して、議員は、「そうですね、何とかしないとだめですね」「市民が中心となり活動してください」という反応でかなりガッカリしました。次回を楽しみにしています。（黒田庄町喜多）
- ・ 時間がほしい。〔短時間〕（黒田庄町喜多）
- ・ 参加者がもっと多いと思っていました。（黒田庄町喜多）
- ・ 議員の責任感がない、責任をもってやってほしい。（黒田庄町喜多）
- ・ 市長へ「夢のある子どもが20年30年後住もうと思う街づくり」施策を（黒田庄町喜多）
- ・ 大変勉強になりました。ありがとうございました。（黒田庄町喜多）
- ・ 考える時間がいりました。（黒田庄町喜多）

《三班》

- ・ 西脇市駅に車椅子で移動ができるようにしてほしい。階段では使えない。（野村町2区）
- ・ 市民会館、市役所の建て替え、十分市民の声を反映してほしい。（郷瀬町）
- ・ 西脇に長く住んでいたが知らないことがわかった。（郷瀬町）
- ・ 初めて出席しましたが、大変勉強になりました。（郷瀬町）

- ・ 写真をとられるのは不愉快です。(郷瀬町)
- ・ 自治会単位での報告会は何とも言えないのが実感。内容が片寄りがちにならないか。個別問題化しそう。議会に反映されうるものか。(明楽寺町)
- ・ 他町での意見等をこれまでの報告書同様に知りたい。(明楽寺町)
- ・ 西脇だけのよいところを作って欲しい。(明楽寺町)
- ・ 子ども(小・中学校)の教育の質を高めるような施策を期待したい。(明楽寺町)
- ・ 若者の遊び場、小さな子どもの遊び場を作ってほしい。(明楽寺町)

《四班》

- ・ 更なるパイプ作りと豊かな発想をお願いしたい。(黒田庄町大門)
- ・ ガンバッテ下さい。(黒田庄町大門)
- ・ 質問に対してしっかりした答弁がほしい。(黒田庄町大門)
- ・ 色々な質問があると思い、議員の方々ももう少し勉強して対処して下さい。(上野)
- ・ 報告書を作成して、継続的な取組を望みます。(上野)
- ・ 質疑応答時にスムーズに進行しない場面があり、西脇市議会は大丈夫かなと不安になりましたが、グループで話し合う機会があったのはよかったです。議員さんと直接話をする機会は大切だと思います。(上野)
- ・ 小さな町へも光を当ててください。(高松町)
- ・ 議論だけに終わらないようお願いしたい。参加人数を増やす必要がある。ブロックごとの話し合いの時間を増やすとよいと思う。(高松町)
- ・ 市の話で止めず県・国への要望を挙げてほしい。(高松町)
- ・ 広報活動を工夫してほしい。(高松町)
- ・ へそ公園をもっと重視して予算をとること。(上比延町)
- ・ これからも続くように。(上比延町)
- ・ 語ろう会の時間がもう少し長いとよいと思いました。(上比延町)

《五班》

- ・ 結果が出るよう、反映されるよう頼みます。(黒田庄町津万井)
- ・ カナートの活用は。(黒田庄町津万井)
- ・ 継続する努力をお願いします。(黒田庄町津万井)
- ・ 議会でもっと有意義な議論をしてほしい、今回の審議報告が余りにも中身がない。カードの手数料、墓地の順番等(黒田庄町津万井)
- ・ 保育園の事、人口減少の事、もっともっと市民の声をきいてほしいです。(黒田庄町津万井)
- ・ 今後もまた聞いてほしい。(南旭町)
- ・ 時間が少々たりなかつたので、またあらためて。(南旭町)
- ・ 今日のような町単位の報告会を最低一年に一回おこなってほしい。(南旭町)

- 色々な話が聞けてよかった。(南旭町)
- 報告会での説明が分かりやすかったのでよかったと思う、自治会の開催では言いやすい雰囲気では活発な意見が出ていたように思う。(南旭町)
- 市民のために頑張ってください。(富田町)
- 議会での結果を聞くことが今まで多かったですが、参加し経過を聞くことができてよかったです。西脇市のスペースの有効活用を。(富田町)
- より地域住民と近い議会になるよう努めてもらいたい。(上戸田)

第11回 議会報告会「議会と語ろう会」アンケート調査

(ア)・議会をご覧になったことがありますか

1	本会議を傍聴したことがある	39名
2	インターネット中継を見たことがある	32名
3	傍聴もインターネット中継も両方とも見たことがある	9名
4	両方とも見たことがない	215名

全アンケート中、本会議を傍聴したことがある、インターネット中継を見たことがある、傍聴もインターネット中継も見たことがあるが80名に対して、両方とも見たことがないが 215名と、73%の人が議会をご覧になっていないという結果になっている。

(イ)・今回の議会報告会を何で知りましたか

1	議会報告会のチラシ	143名
2	市議会HP	14名
3	防災行政無線	23名
4	フェイスブック	1名
5	その他	98名

今回の議会報告会を何で知りましたかについては議会報告会のチラシと回覧板、その他区長に頼まれたが約86%、市議会HP、防災行政無線が13%と特にフェイスブックでの周知は1名のみという結果になっている。

(ウ)・議会報告会について

1	良かったと思う	180名
2	もっと工夫が必要	95名
3	そもそも必要がない	6名
4	その他	2名

議会報告会についてでは良かったと思うが 180名で全体の64%、もっと工夫が必要とそもそも必要がないが36%を大きく上回り全体に良い結果になっている。

(エ)・「議会と語ろう会」について

1	活発な意見交換ができて良かった	112名
2	もっと議論を深めたいと思った	58名
3	意見交換が議会にどう活かされるのか興味をもった	114名
4	低調な議論だった	13名
5	そもそもテーマ設定が間違っている	5名

「議会と語ろう会」については、活発な意見交換ができて良かったが 112名、もっと議論を深めたいと思うが58名、意見交換が議会にどう活かされるのか興味をもったが 114名、それに対して低調な議論だったが13名、そもそもテーマ設定が間違っているが5名、全体的に良かったと思われるが 226名、否定的だったと思われるが18名、実に75%以上が好意的に捉えてもらっている結果となっている。

(オ)・町、自治会単位での報告会開催について

1	良かったと思う	205名
2	もっと工夫が必要	73名
3	そもそも必要がない	6名
4	その他	5名

町、自治会単位での報告会開催については良かったと思うが 205名に対して、もっと工夫が必要、そもそも必要ないが79名で約71%が自治会単位での報告会開催について賛成してもらっている結果となっている。

全体的な感想としては今回自治会単位で開催されたことは大変良かったと思う。それぞれの町で活発な意見交換ができ、おおむね良好という印象を持った。ただ残念なことは、議会に対して傍聴もインターネット中継も両方とも見たことがないが全体の73%であるのには少し考えさせられた。もっともっと議会に対して興味を持ってもらう手立てを考えるべきではないだろうか。

第12回議会報告会

班編成 平成28年5月予定

	氏名	町名
1班	寺北 建樹 (班長)	嶋・野村町4区・岡崎町・黒田庄町門柳
	松本 和幸	
	村岡 栄紀	
2班	高橋 博久 (班長)	山手町・大垣内・富吉上町・黒田庄町大伏
	坂部 武美	
	古西 祐子	
3班	林晴 信 (班長)	豊川町・日野町・野村町3区・水尾町
	村井 正信	
	宮崎 春貴	
4班	中川 正則 (班長)	津万・板波町・中畑町・黒田庄町福地
	岡崎 義樹	
	高瀬 洋	
5班	岩崎 貞典 (班長)	仲ノ町・富吉南町・住吉町・黒田庄町岡
	浅田 康子	
	東野 敏弘	

西 脇 市 議 会

■ 西脇市議会HP

<http://www.city.nishiwaki.lg.jp/kakukanogoannai/gikaijimukyoku/index.html>

■ 西脇市議会フェイスブックページ

<https://www.facebook.com/nishiwakigikai>

■ 西脇市議会事務局

〒677-8511 西脇市郷瀬町605番地

TEL : 0795 (22) 3111 内線302

FAX : 0795 (22) 4301